



武蔵野北高校卒業生のスタッフ江崎が、ムサキタ生時代やっていた、ひとつ上の現役合格に向けて、学校と大学受験準備の両立のやり方をお伝えします!!

ぜひ参考に見てみてください。

## 早稲田大学 文化構想学部 2年

私はまず1.2年生の時は、定期考査期間は部活動がなくなるので、ここではかなりしっかり勉強して、学年で10番以内の成績を目標にしていました。この1.2年生からの積み重ねのおかげで、本格的な受験準備スタートの時期には、既に基礎が固まっていたので、受験勉強がスムーズに進められました。

1.2年生へ：まず、勉強を自分の生活の中に習慣化することが大事だと思います。受験生ではなくても、「何曜日の何時からはマナビスに行って受講しよう」「定期テストの期間だけでも全力で勉強していい点数を取ろう」と目標を立ててそれを実行していきます。受験勉強はこれらの応用編で、「今日は英語を2時間勉強して、その後に1時間古文をしよう」というような小さな目標を毎日繰り返しこなしていくようなイメージです。

そしてマナビスに通い始めてからは、家では寝てしまったりテレビを見てしまったりと勉強に集中できないので、とにかく何もない日でも学校の自習室かマナビスに行き、勉強せざるを得ない環境に身を置くことにしていました。学校で授業がある日は、授業後から17時まで学校の自習室で勉強して、家と学校が近かったので1度帰宅して夕食を取り、18時から22時までマナビスで受講、というルーティーンが出来ていました。

高3生へ：ムサキタでは受験生にとって非常に重要な3年生の夏休みには文化祭準備があり、3年間の集大成となるため毎年特に力を入れています。そのため生徒たち全員が受験勉強と並行して毎日準備を進める、というとても大変な時期になります。準備の日は1日中学校にいて、教室と自習室を行き来しながら作業をしたり合間に勉強したりしていました。

ストレスをためすぎないようにするためにも休憩も大事にするべきだと思います。私も時々テレビを見たりしていました。頑張る時は頑張る、休むときは休む、行事なども思い切り楽しむ。メリハリを付ければ勉強へのモチベーションにもなります。

皆さんが志望校に合格できるよう応援しています。

